



ロータリーは  
世界をつなぐ



RI第2510地区 留萌ロータリークラブ

# 会報

2019 ▶ 2020  
WEEKLY REPORT

留萌ロータリークラブ  
会長目標

## クラブの活性化と行動は 世界・地域に向けて

会長／福士 幸子 幹事／串橋 伸幸

### プログラム

- 本日  
「わが生い立ち」  
村松 博士 会員
- 次週予定  
「移動夜間例会」

会員誕生日  
関 野 紘 史

配偶者誕生日  
對 馬 真 澄

No. 2837  
第7回 8月21日

出席報告

前  
例  
会

会員総数	31名
出免会員	2名
出免出席	2名
基準会員出席	19名
出席率	67.74%

前  
々  
会

第4回 7月24日

欠席会員	5名
内メイクアップ	1名
修正出席率	67.74%

例会／毎週水曜 12:15～13:15 留萌産業会館2F

## 🖋️ 会長報告 .....

- 7月31日、第2回定例理事会を開催しました。ガバナー歓迎夕食会、会長幹事励ます会の決算報告を承認いたしました。8月28日、会員増強委員会担当のプログラムを承認しました。9月例会プログラム、7月会計報告を承認しました。8月17日開催の2510地区ロータリー・リーダーシップ研究会パート3に辻本会長エレクトと燕副幹事が出席予定となっています。
- 米山梅吉記念館創立50周年記念の特別寄付の願いが来ています。次回の例会より集めたいと思います。個人が3,000円以上、法人が10,000円以上となっています。集金は奉仕プロジェクト委員長の高橋会員にお願いしております。この寄付金は所得控除の寄付金に

なります。

- 今年度の理事会において細則の変更をしたいと思います。現在の会員の減少により現在の組織の維持が困難な事、また細則に不透明な部分が見当たり、変更を提案しております。理事会で改正案を作成する前に諮問委員会を開催したいと思います。諮問委員会メンバーは對馬会員、鈴木会員、山本会員、西谷会員、福士の5名です。宜しくお願いします。

## 👤 幹事報告 .....

- 8月のロータリーレートは108円です。
- 深川ロータリークラブより活動計画書、活動報告書、7月会報、8月例会案内を受領しました。

## 第6回 8月7日(水) 天候/曇

- 砂川ロータリークラブより7月会報を受領しました。
- ロータリー財団日本支局より、確定申告用寄付金領収証が届いております。対象者には後ほどお渡しいたします。
- 第15回ロータリー日韓親善会議の案内を受領しました。
- 国際ロータリー第2510地区ローターアクト第47回地区協議会の案内を受領しました。
- 例会終了後、留萌呑波祭り実行委員会の皆さんが盆踊りのチケットの購入のお願いに来ていますのでよろしくお願いします。

### 委員会報告 .....

社会奉仕委員長

関野委員長

先日開催されたあんどん例会大変ありがとうございました。事故もなく無事終了いたしました。会員皆様に感謝申し上げます。なお法被は岡谷クリーニングさんまで届けてください。宜しく願い申し上げます。

### ニコニコBOX .....

- やん衆あんどんお疲れ様でした。 福士会長
- 写真ありがとうございます。 申橋幹事
- 先日は大変お世話になりました 山本会員
- 前年度親睦活動委員会の皆さんからネクタイを戴きました。ありがとうございました。 鈴木会員
- あんどん写真戴きました。本日また無駄に歳をくっちゃいました。 高橋会員
- あんどん例会皆様ご協力ありがとうございました。素敵な写真出来ました。 関野会員
- あんどん写真いただきました。

燕、西谷、大嶋、山根、西原各会員

前 回	196,000円
今 回	25,000円
累 計	<u>221,000円</u>

### プログラム .....

「我が生い立ち」

大沼 大会員

私は1978年(昭和53年)5月24日に北海道留萌市で生まれました。同級生で言えば、中出会員の息子さんの中出靖彦、イケダ看板の池田聖、伊藤俊輔、音楽合宿を頑張っている谷龍嗣などが同級生です。

私の父は元ロータリーの会員で、私が生まれた時は、家が建築資材販売業の「大沼ベニヤ商会」を営んでおり、祖父永三郎が社長、父哲郎が専務を務めておりました。その頃の記憶ではただ父親が忙しそうに仕事をしていた事しか記憶にありません。

幼少の頃は沖見保育園に通い、東光小学校、留萌中学校、留萌高校までを留萌で過ごしました。沖見保育園時代の記憶では、親が帰りに迎えに来るのが当たり前ですが、私の場合は仕事の関係上で、配達に従業員が大沼ベニヤ商会と大きく名前が入ったトラックで迎えに来てくれていた記憶があります。

留萌中学校では部活で、2年の途中から陸上部に入りました。同級生でビリケンマスターの山口大樹の誘いがあったからで、関野さんとはそこで出会っています。1年先輩でしたので話す事はありませんでした。高校時代は同級生の誘いで、2年生の時に柔道部へ入部し、田中卓主将の厳しい指導を受け、3年生の時に奇跡的に初段を取得する事が出来ました。その後、東洋大学へと進学し、進学とともに北海道を離れ、大学卒業後に就職先である水回りメーカーのクリナップ株式会社に入社いたしました。埼玉県越谷市2年、日本一暑い街、越谷市で7年間を過ごしました。熊谷での6年間は仕事が忙しく余裕を持てませんでしたが、熊谷生活の7年目に休日の気分転換に始めたのが当時少しづつ注目が集まりつつあった、ボルダリング(クライミング)でした。

翌年、クリナップの札幌営業所へと転勤になりましたが、東札幌のジムでクライミングを続ける事が出来ました。そこでロープクライミン

## WEEKLY REPORT

---



グをやってもらったら、あっという間に強くなるんだろうな、と感じました。将来的にはそういった地域でクライミングを通して何か貢献できればと思っております。

グなど、クライミングの新しい魅力を知る事になりました。

その後、クリナップを退社し地元留萌へ戻る事となりましたが、クライミングが出来る場所がありません。留萌に戻って1ヶ月程度は札幌に毎週のように通いましたが、このスポーツの魅力や皆に伝えたいとの思いから、留萌に戻って2年目の夏に、自分の会社の2階の資材置き場だったスペースに札幌の専門業者をお願いして小さなボルダリングスペースを作ってもらいました。

その後、どの様に運営していけばよいか悩んでいた所に出会ったのが、山岳会の村田さんと体育協会の井端さんでした。二人とも親身に相談に乗ってくれて、留萌スポーツクラブのなかのボルダリングクラブとして現在に至ります。

当初は5名くればまずまずという具合ではありましたが、(閑古鳥が鳴く事もありましたが)6年経った今では、1日当たり12~13人、多い時には20人ほどの賑わいを見せるようになりました。クライミングを通して年齢、性別、職業、国籍を問わず、様々な人々に出会わせてもらえたと感じています。

羽幌の仲間が武道館にクライミング壁を設置したり、小平町の海洋センターにも壁が出来たり、少しずつですがクライミングが身近になってきているのかなと感じています。近い将来、近郊の街ナンバーワンを決めるオロロンカップを開催したいと思っております。

話はそれますが、一人旅が好きで、年に1回程度、東南アジアに行っています。そこで会う子供達を見ると、(田舎では子供達が素足で遊んでいるのを見て) この子供達にクライミン

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会 ロータリー日本国内全地区合同プロジェクト

# ロータリー米山記念奨学事業の基礎知識

## — 奨学金制度編 —

### ★ ロータリー米山記念奨学会について

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会は、日本のロータリーが協同で運営する奨学財団であり、財源は主に会員の寄付で成り立っています。日本独自のプログラムですが、国際ロータリー（R I）からも国内全34地区の多地区合同活動として認められています。1967年に財団法人設立、2012年1月には公益財団法人に移行しました。

### ★ 支援の対象は外国人留学生

事業開始から一貫して、日本の大学・大学院などで学ぶ外国人留学生を対象にしています。2019年4月採用の奨学生数は全国で869人と、外国人留学生を対象とした民間の奨学金では国内最大規模です。これまでに累計で、世界129の国と地域からの留学生2万1,024人を支援しています（2019年7月1日現在）。

### ★ 世界の平和を願って始まった国際奨学事業

事業の始まりは1952年、東京ロータリークラブ（R C）の当時の会長、古澤丈作氏によってつくられた、海外、特にアジア諸国から優秀な学生を日本へ招き、奨学支援する「米山基金」の構想にさかのぼります。

「米山」とは、「日本のロータリーの父」と呼ばれた米山梅吉氏（1868～1946）のこです。タイから初めて奨学生を迎えたのは2年後の1954年。以降は、海外からの招へいではなく、在日留学生への支援に方針を変え、東京R Cの単独事業から全国の地区に拡大・発展しました。留学生数の増加に伴い、ロータリー所在国に限らず世界に門戸を開くなど、時代とともに変化しながらも、ロータリアンと外国人留学生との交流を通じて国際親善と世界の平和に寄与する、という事業の目的を今日まで貫いてきました。

### ★ 最大の特徴は世話クラブ・カウンセラー制度

その目的を実現するための制度が「世話クラブ・カウンセラー制度」です。米山奨学生には、地域のロータリークラブから「世話クラブ」が選ばれ、会員の一人が「カ

ウンセラー」となって、日常の相談相手や交流の橋渡しし役となります。奨学生は毎月1回以上、世話クラブの例会や奉仕活動に参加し、大学生活では得られない出会いと交流を通じて、日本の心、ロータリーの心を学びます。会員にとっても、多様な文化や価値観への理解を広げる機会になっています。

### ★ 学友の集い、モンゴルの次は台北へ

米山奨学生は、奨学期間後に「米山学友」となります。2014年1月のR I理事会で「学友」の定義が拡大され、米山学友も「ロータリー学友」となりました。米山学友の同窓会組織「米山学友会」は現在、日本国内に33、海外に9つあり、学友同士の親睦にとどまらず、日本と母国の奉仕プロジェクトを仲立ちしたり、独自の奉仕活動を実施したり、他の学友会と交流するなど、ロータリーの世界に根を張り、ネットワークを広げています。その一環として、世界各地の米山学友が集う「絆 in モンゴル」が今年7月、モンゴルの首都ウランバートルで開催されました。次回は2021年、R I国際大会が行われる台湾・台北市で、開催に向けた企画が進められています。

なお、今年度の「よねやまだより」では、米山月間特集となる10月号で「絆 in モンゴル」の報告を、11月号からは昨年度に続き、各米山学友会の活動を紹介する「CLOSE UP! 学友会」シリーズをお届けします。

### ★ 奨学金の種類と特徴（2019年4月～20年3月）

ロータリー米山記念奨学金一覧	月額	期間	募集システム	人数
1. 学部課程（Y U）	10万円	最長2年	指定校推薦	812人
2. 修士課程（Y M）	14万円			
3. 博士課程（Y D）	14万円			
4. 地区奨励	7万円/ ※10万円	1年/ ※最長2年		17人
5. クラブ支援	14万円	6カ月/ 1年	世話クラブ推薦	9人
6. 海外応募者対象	10万円 (学部生) 14万円 (大学院生)	2年	公募	27人
7. 海外学友会推薦	14万円 (渡航・住居費別)	1年	海外学友会推薦	4人

※高専専攻科、専修学校高度専門士課程の場合